



バラの会
松坂 昌應 議員

問 観光拠点線を線から面に、歩いて楽しい城下町を

Q 観光の中心拠点島原城。様々な現状の活用を尊重しながらも、どこまで史実に近づけて維持するか。

A 市民皆さまのご意見を尊重しながら、歴史的景観を損なわないような活用を考えている。

Q 歴史的には、本丸へのルートは文化会館のある二の丸から廊下橋を渡るといふもの。現在の山側登城路はどうするのか。

A 築城時にはなかったものだが、既に多くの利用があるので、今後も活用していきたい。

Q ①武家屋敷地区の伝統的建造物群保存地区指定を急げ。②万町堀部邸を有形登録文化財に。③街並み景観賞は継続を。

A ①国からは下の丁の通りだけではなくもっと広い範囲での指定を目

指すよう言われている。②文化財指定の要件を十分備えている。③城下町のたたずまいを残す役割を果たしてきた。今途絶えているが、存在してしかなるべき制度だと思う。

Q 島原城は、島原市民のよりどころ。指定管理先となる(株)島原観光ビューローもまた、市民のものという意識が大事。その役割は。

A 島原城だけでなく、鯉の泳ぐまち周辺観光施設まで一体的に運営するので、現状を把握し、観光客にまち歩きをしていただくことが重要と考えている。

問 市長を囲む懇談会

Q 市長を囲む懇談会の反省点は。

A 市民の方からいろいろなご意見、ご提案などをおいただいた。行政として頑張っているが、それは内輪の論理で、的確に市民へ伝わっていないと実感した。伝えたと伝わったとは違う。一方通行にならないようにしたい。

【その他の質問項目】

◆給費型奨学金制度の提案はまだか

◆納税奨励金は今年度限りで廃止か



チーム I
中川 忠則 議員

問 「いま、眉山は」広報しまばら臨時号について

Q 提案者は誰か。

A 私市長の提案で、IT企業で研修した若手職員と広報担当と市長とで、広報コンクールで毎年上位に入賞の霧島市に研修に行き、作成した。

Q 職員が提案をしているが、実現した場合、特別昇給をさせるべきと思うがどうか。

A 何らかの形で頑張ったことを認めるべきと思っている。

問 議会棟を別棟にし、空いているときには防災拠点、災害対策本部等の利用を

Q 普賢岳噴火災害を経験した本市庁舎には各種防災機能を備えるべきだと思いがどうか。

A 合併特例債を活用するには今の実施設計で進めなければ間に合わない

いが、非常用電源の上層階設置や災害対策本部、広域圏消防本部との連携は可能だと思ふ。

Q 新庁舎では階数を増やしても産業部と水道課は本庁舎に移すべきだと思いがどうか。

A 現時点での実施計画を先行したい。将来的には増築等、その時代に合ったことを考えたい。

問 「シェアリングエコノミー」について

Q 最近話題のシェアリングエコノミーとは。

A 場所、乗り物、物、人などインターネットを個人間で貸借、売買、交換しシェアする新しい経済の動きのこと。また、少子高齢化社会に対する行政サービスの課題を、公助から共助として民間同士による助け合いが促進されることも考えられる。

問 島原城の堀の中を一部運動広場として利用できないか

Q 森岳地区の方々が利用できるような運動広場はできないか。

A 菖蒲園跡地を運動ができる広場として活用できるように早急に検討する。